

本章のポイント

- ☑ 経済学は資源の有効利用をおもな目的とする。
- ☑ 経済成長や経済発展につながる精神として、禁欲・勤勉、劣等感・競争心、自由主義、欲望、楽観・安心感などがある。
- ☑ 貨幣や金融は皆からの信用をもとに成り立っている。
- ☑ スミスは自由主義、マルクスは共産主義、ケインズは裁量的な需要創出、フリードマンはマネタリズムという方向性を示した。
- ☑ 近代経済が自由主義と個人主義を基調としている点は近代法と共通している。
- ☑ 需給の変動と市場価格という市場経済の作用は事後的であり、法則に近い性質を持つ。

※本章では「経済発展」と「経済成長」という二つの似た言葉がたびたび出てきますが、前者は未発達な経済が近代的な構造に変わることの意味し、後者は経済の規模が大きくなること、とくにGDP（＝国内総生産）が伸びることを意味します。

1 経済学の意義

一 経済学とは何か

経済とは、人間による**生産・消費・交換・貯蓄・投資**などのことです。この中の投資という要素一つだけをとっても経済、いくつかの要素をとり上げてみても経済、全体としても経済です。それらを歴史も含めて解き明かしつつ、**資源**（＝労働・資本・土地・天然資源など生産に関する要素）の有効な使い方を研究する学問が経済学です。

一般に経済学の意義は**資源の希少性**に見出せます。というのも経済学では**人間の欲望は無**限であると考えられています。地球の資源のほとんどは明らかに限られています。そこで人間が人間の欲望を満たすだけの財を効率よく生産するにあたっては、有限の資源をどれだけ用いて、どのように組み合わせるかという**資源配分**の問題が生じます。^{※5}

とくに、資源の有効な配分にあたっては人間の性質や意思決定も研究する必要があります。

※5 ちなみに生産された財を各人にどれだけ分配していくかは、資源配分とは異なる概念であり、こちらは所得分配（分配理論）と呼ばれます。

経済は波打つのです。なお景気は、財政政策・金融政策やルール改定、オリンピックなどの大規模イベント開催、政治家の言動、他国における戦争などによっても揺さぶられ、それは場合によってはバブルや恐慌に発展します。

■自由な経済活動が抱える矛盾

景気循環という波を乗り越えていく過程で、一部の大企業はさらに支配力のある大企業に成長します。なぜなら、大企業は自分たちに有利な取引条件を中小の下請け業者に飲ませて利益を確保することができ、政府も経済成長の牽引役として大企業を優遇した経済政策を行う傾向があるからです。

この動きは企業間に止まらず、価格や質の面で消費者にも不利益をもたらすことがあります。本来、消費者は、ある企業の商品やサービスが気に入らなければ、その企業に改善を促したり、他の企業のものに乗り換えますが、市場が大企業に支配されていると、そうした主体的な動

きが困難になります。

国民に情報を提供するはずの報道機関も、大企業に関して悪い報道をすれば、彼らの機嫌を損ねて広告収入の減少を招くため、報道を意図的に控えることがあります。これでは、ますます大企業は市場の審判を受けにくくなります。つまり、大企業が自由な利潤追求に基づいて築いた独占的な支配力によって、消費者・中小企業の主体的な経済活動や報道機関の動き、そして市場における価格競争が損なわれるということです。資本主義は市場経済における自由な価値増殖を原理としますが、大きな経済主体が優位に立つことで、市場経済の動きが鈍るといふ矛盾した状況をもたらしてしまうのです。

一方、社会主義は、価格や生産活動を統制する計画経済によって、景気循環や格差をなくすることができるとい

います。そもそも、資本主義国で景気循環や格差が発生する原因は、企業や消費者が自由に行動することにあります。

図15 資本主義と社会主義(計画経済型)の違い (図14と一部重複)

	基本理念	私有財産	利潤の動向	賃金の原則	政府の役割	国民の扱い方
資本主義	自由な利潤追求	原則として認められる	それを生み出した人・組織のものになる	企業の自由	民業を助けたり民間ができないことを行う	各人の自由を尊重する
社会主義	資本主義の根本的な克服	ある程度、または全面的に制限される	皆で分け合う	理論上は政府が平等に分配する	経済・社会を統制する	画一的支配の対象と見なす

図14 市場経済と計画経済の違い

	各人の行動原理	特徴	価格の決まり方	資源配分	失業
市場経済	自らの効用を高めようと自由に動く	需給量と価格・利潤の収束	需要と供給のバランスにより形成される⇒市場価格	消費者や企業の自由な行動から形成される	労働者は自発的に選択できる
計画経済	政府の計画の下に動く	成否は政府の能力次第	政府が決める⇒公定価格	政府が生産手段を保有しながらコントロールする	理論上は生じない